



せんじゆ 千住	としまちよう 豊島町	こうじまち 麹町	くぜひろかげ たまお ぶんだゆう 久世広景 — 玉緒（妻）、文大夫（家宰）
しんよしはら 新吉原	よしかわちよう 吉川町	よつやきおいさか 四谷紀尾井坂	お利与（元奥女中）、利佐（娘） = 芙美、専太郎（利佐の恋人）
にっほんてい 日本堤	やげんほり 薬研堀	よつやさめがばし 四谷鮫ヶ橋	くぜ さまのすけ せったなおし はんべえ ためぐろう 久世左馬助（長男）、雪駄直しの半兵衛（手先）、水引の為五郎—イネ（娘）
さんやたまち 山谷田町	ばくろちよう 馬喰町	ためいけ 溜池	うまのすけ つついうまのすけ みさと 右馬之助（息子 内与力） = 筒井右馬之助 — 美里（妻）
いたばし 板橋	はつね ぼ ば 初音の馬場	ろっほんぎ 六本木	じんすけ しか 甚助（中間）、彦四朗（若党）、お鹿（下女）
よこあみちよう 横網町	こでんまちよう 小伝馬町	あおやまひやくにんちよう 青山百人町	いちのしん 市之進（岡崎藩浪人の子）
さるえちよう 猿江町	たちばなちよう 橘町	ちようじゃ まる 長者ヶ丸	くぜ うまのすけ つついがのかみまさのり 久世右馬助（次男） = 筒井伊賀守政憲（南町奉行）
まつざかちよう 松坂町	ふきやちよう 葺屋町	しばぐち 芝口	いぬいじろう ざえもん えいのしん とみ 乾次郎左衛門（年番与力 美里の父）、栄之進（養子） — 富（母）
ろっけんほり 六間堀	さかいちよう 堺町	たかなわ 高輪	かわだやきゆうすけ しな 河田屋久助（船宿） — お品（女房）
うみべだいくまち 海辺大工町	たかさごちよう 高砂町	すすきだじんさい 薄田仁斎（町医者）	
ふかがわもんぜんなちよう 深川門前仲町	みかわちよう 三河町	すがの でんじゆうろう すがの でん ざえもん 菅野伝十郎（隠密廻り同心）、菅野伝左衛門（吉原の同心）	
どばし 土橋	しながわちよう 品川町	こぜきしんたろう まさえ くめ もさく 小関信太郎（南町定町廻り）、正枝（母）、お糸（下女）、茂作（下男）	
したやおかちまち 下谷御徒町	みなみかやばちよう 南茅場町	さきち 佐吉（中間小者）、新吉（手先 貸船つくだ屋の息子）	
したやねりべいこうじ 下谷練塀小路	きたじまちよう 北島町	みずきこういちろう みなみまちじようまちまわり 水木弘一朗（南町 定町廻り）	
さくまちよう 佐久間町	かわぐちまち 川口町	さかさばらかずえのかみただゆき 榊原主計頭忠之（北町奉行）	
あさくさかやちよう 浅草茅町	てっぼうず 鉄砲洲	さかぐち や しちろう 坂口弥七郎（北町 本所廻り同心）	
かんだまつしたちよう 神田松下町	こびきちよう 木挽町	ながたまさくに 永田正邦（元北町奉行永田正直の養子）	
むこうやなぎはら 向柳原		みずのただあきら ひじかたぬいのすけ 水野忠成（老中首座）、土方縫之助（家老）	

まつだいらあわのかみただふさ おかぼやしじんじゅうろう  
松 平安房守忠房 (火付盗賊改方)、岡林陣十郎 (火盗改方同心)

ちようろく  
長六 (柳原の岡っ引 夜鷹屋)

さだきち  
定吉 (玉屋の花火師)

かめふじ おきさ  
亀藤 お喜佐 (女将 左馬助の娘)

せいすけ よきち かつじろう  
清助 (番頭)、与吉 (板前)、勝次郎 (手代)

ひなのゆ  
雛乃湯 お京 (後家)

にさく  
仁作 (大工)

まつきち  
松吉 (井戸職人)

い え も ん あきや しげぞう  
伊右衛門 (上野長屋の大家) = 秋谷の繁蔵、徳の市 (按摩)、与五郎

さがみ げいぞう たさぶろう ちよきち  
相模の鯨蔵 (大盗)、藤沢の多三郎 (幹部)、千代吉 (芸者 板頭)

まんごろう  
万五郎 (一つ目橋の岡っ引 人足の頭)、八十助 (下ッ引き)

ごろぞう ろこうや  
五郎蔵 (口入屋)、路考屋 (口入屋)

こまぎく  
駒菊 (柳橋芸者)

せいしん に  
精心尼 (庵主 花の戸)

こちよう に りこうせん あげは  
胡蝶尼、李江宣 (父 唐人闇取引)、揚羽 (母 お吉)、おしん (女童)

うまかいしかのすけ  
馬飼鹿之助 (青山百人町鉄砲頭)

なかにしつぐまさ てらだご えもん たかやなぎまたしろう しらいとおる  
中西子正 (道場主)、寺田五右衛門、高柳又四郎、白井亨

すえよしごんじゅうろう  
末吉権十郎 (旗本)